

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	後期	学 年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	医学英語	講義曜日	時間割参照	講義回数	8
		単位時間数	15	単位数	1
講師名	酒井良隆	実務経験	医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務		
講義目標	一般目標				
	臨床現場で使用される医療に関する英語（英単語），略語を理解して，加齢等の資料を読み取り，対象者の情報を記すことができる。また，国家試験に頻出する疾患名，評価尺度名などにも早期に触れ，英語表記に慣れている。				
	到達目標				
	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション現場でよくみられる疾患や状態，指示に関する単語をある程度理解できる ・単語を交えて対象者の状態を表現できる ・国家試験にどのような英語表記が存在するのか知っている 				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション グループ分け		
2	人体の基礎知識 運動面，運動方向		
3	人体の基礎知識 運動肢位		
4	対象者の状態を読み取る 対象者の状態を表現する		
5	国家試験の英語表記 分担 調べもの		
6	国家試験の英語表記 調べる 発表準備		
7	調べたことを発表してみよう プレゼンテーション		
8	調べたことを発表してみよう プレゼンテーション		

講義方法

主にグループワークとなり，座学，演習など内容によって形式は異なる
ハンドアウト，辞書，インターネット，Power Pointを使用する
適宜iPadを使用し，英単語について調べる

講義で使用する機器・教材

ハンドアウト（適宜配布する），PC，プロジェクター
iPadは毎回持参すること

履修上の注意事項

グループワークがほとんどであるため，自分が欠席することによって他メンバーに与える影響
よく考えること
早期に英語表記に慣れることを目的としているため，まずは「やってみる」という姿勢で取り

成績評価方法

出席・授業態度（20%），課題（20%），期末筆記試験（60%）で評価する
持ち込み可の期末筆記試験の場合，再試験は行わない
また，出席時数が授業時数の2/3に達しないものは，評価できない

教科書

リハビリテーションの基礎英語 改訂2版

参考書

コ・メディカル版 ステッドマン医学辞典 メジカルビュー社

予習復習のアドバイス

- ・別の講義のノートなどにも覚えた単語を活用し，知識の定着化，実用化を目指す
- ・配布資料は必ずファイリングする

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	Basic Communication Training I（BCT I）	講義曜日	時間割参照	講義回数	8
		単位時間数	15	単位数	1
講師名	石川 陽子	実務経験	介護老人保健施設・精神科病院に4年、 介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪 問介護ステーション（訪問リハビリテーショ ン）に2年、作業療法士として勤務		
到達目標	医療人として社会で働くために必要となるコンプライアンス，身だしなみ，健康管理，タスク管理，感情管理，連絡報告相談などについて知り，日々の学校生活で意識的に実施できる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション OTを目指すあなたへ	11	
2	コミュニケーションとは？ コミュニケーションと学校ルール	12	
3	コミュニケーションとは？ コミュニケーションとシラバス	13	
4	自律した自分になろう	14	
5	自律した自分になろう	15	
6	自分を理解しよう	16	
7	自分を理解しよう	17	
8	まとめ 試験（45分：持ち込み可） レポート作成	18	
9		19	
10		20	

講義方法

主に座学とグループワークで実施する

資料は基本紙で配布します，データでお渡しする場合にはTeamsにて配布します。

講義で使用する機器・教材

パワーポイント，PC，プロジェクター

履修上の注意事項

欠席した講義の資料は自分で教員まで取りに来る・友人にコピーさせてもらうなどして，必ず全ての資料をそろえるようにしてください。

コミュニケーションに対する「指摘」は「これからなる医療職としてのコミュニケーションに不足していること」であり，みなさんを否定するものではありません，これから身に付けていきましょう。

成績評価方法

課題60%，試験40%で評定します

課題提出期限は厳守，理由なく遅れた場合は採点しません。遅れそう/遅れた場合には必ず相談をしてください。

教科書

PT・OTのための これ你放心 コミュニケーション実践ガイド 第2版/医学書院

予習復習のアドバイス

コミュニケーションが苦手な人は知識を得て冷静になれるように，得意な人は自分がいましている。

コミュニケーション技術に名付けるように，学問としてコミュニケーションを学ぶ姿勢で受講して下さい。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	運動学	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	4
講師名	矢野 大輔	実務経験	医療機関3年4ヵ月、介護保健施設・介護福祉施設など11年8ヵ月、作業療法士として勤務		
到達目標	運動学の重要性を理解し、姿勢・運動・動作を力学的視点で説明出来る。運動学習やその効果を理解し、適切な運動処方や体力測定の実施方法を理解できる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション キネシオロジーの基本原則・用語	11	肘・前腕複合体の構造と機能②
2	関節運動と運動面・運動軸	12	手関節の構造と機能
3	関節運動学・運動力学 凹凸の法則、トルク	13	手の構造と機能①
4	ニュートン運動法則・生体力学的てこ ベクトル	14	手の構造と機能②
5	姿勢、重心、支持基底面 力と速度、加速度、仕事	15	脊柱の構造と機能①
6	関節の構造と機能	16	脊柱の構造と機能②
7	骨格筋の構造と機能	17	脊柱の構造と機能③
8	肩複合体の構造と機能①	18	股関節の構造と機能①
9	肩複合体の構造と機能②	19	股関節の構造と機能②
10	肘・前腕複合体の構造と機能①	20	膝関節の構造と機能①

回数	講義内容	回数	講義内容
21	膝関節の構造と機能②		期末試験
22	足関節の構造と機能①		
23	足関節の構造と機能②		
24	寝返り～座位の姿勢と動作		
25	立ち上がり～立位の姿勢と動作		
26	歩行の基礎知識①		
27	歩行の基礎知識②		
28	咀嚼と換気のキネシオロジー		
29	運動学習①		
30	運動学習②		

講義方法

基本的には座学の講義となります。教科書と配布プリントを使用して進めますので配布資料はファイリングして講義に持参してください。

講義で使用する機器・教材

講義では、教科書を使用し、適宜、資料としてプリントを配布します。

視聴覚教材として、DVDや動画を利用する場合があります。Ipadを使用する際は、前もって指示します。

履修上の注意事項

※1) 講義時間内での、記録の整理を集中して行ってください。

※2) 基礎となる非常に重要な科目です。解剖学や生理学も同時に繰り返し学習してください。

※3) 課題提出は期日を厳守してください。遅れる場合は期日前に教員へ報告に来てください。

成績評価方法

課題評定、学期末試験で評定します。

※通年の科目であるので、前期試験との平均で、総合評定します。

教科書

Paul Jackson Mansfield 筆 「エッセンシャルキネシオロジー 原書第2版」

参考書

※細田多穂 監修 “運動学テキスト” シンプル理学療法学シリーズ 南江堂

※伊東 元、高橋正明編集 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 運動学

予習復習のアドバイス

自分でわからないことがあったら、そのままに放置せず、必ずわかるまで調べるか質問に来てください。解剖学・生理学の基礎的な知識を踏まえての学習になりますので、復習を怠らず進めてください。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	1年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	リハビリテーション概論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	藤井 貴	実務経験	医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	リハビリテーションを正しく理解する。正しい知識を持ち医療・保険・福祉領域の現状を把握する。各専門職の役割・業務内容を知る。				
	到達目標				
リハビリテーションサービス体系の変革はめまぐるしいが、リハビリテーションが掲げた理念、目的に変更はないことを共有し、リハビリテーションを構成している諸領域や施設とその役割、それらを支えている概念を理解し、臨床実習や卒後業務にいかせる知識を修得する。					

回数	講義内容	回数	講義内容
1	リハビリテーションの定義・歴史 理学療法士および作業療法士法	11	障害受容 ① ～分類～
2	リハビリテーション介入の流れ ～病気と障害 / 急性期・回復期・維持期～	12	社会参加を支える制度 ① ～障害者基本法～
3	リハビリテーション関連職種とその役割 チームアプローチ・リハ手段	13	参加制約へのアプローチ ～家族と家庭～
4	評価会議とゴール設定 ①	14	総合リハビリテーション
5	評価会議とゴール設定 ②	15	リハビリテーション諸相 ～医学的・教育的・職業的・社会的・地域～
6	国際疾病分類（ICD）	16	
7	国際生活機能分類（ICF） ①	17	
8	国際生活機能分類（ICF） ②	18	
9	ノーマライゼーション バリアフリー、QOL	19	
10	クリニカルパス	20	

講義方法

教科書、資料を用いて行う。

講義で使用する機器・教材**履修上の注意事項**

- ・ 講義資料を適宜、ファイルに閉じる。
- ・ 講義内容を聞き取り資料に記載する。
- ・ 講義を休んだ場合は、必ず講義内容を聞きに来る。

成績評価方法

成績評価方法:期末試験 100%

講義内容に合わせてファイルチェックを行います。(評定に含めます。)

適宜、課題提出

教科書・参考書

教科書 「入門リハビリテーション概論」中村隆一・佐直信彦編

教科書 「よくわかるリハビリテーション」江藤文夫編

予習復習のアドバイス

- ・ 講義資料を整理しする。

講義要項（シラバス）

年 度	2020 年度	時 期	前期	学 年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	作業療法概論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	上遠野 純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院・大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
到達目標	作業療法実践を知ることの中で、生活と作業との関係や作業療法士の役割を理解する。領域別・病期別の作業療法過程を学び、リハビリテーションにおける作業療法の位置づけを理解する。また、職業人として職業倫理を高める。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 作業療法士に求められる資質	11	作業療法部門の管理運営 関連法規
2	作業療法とは (目的・対象・治療手段)	12	職業人としての倫理 職能組織としての活動（生涯教育）
3	生活と作業① (ライフサイクルと環境)	13	作業の治療的意味 作業療法理論
4	生活と作業② (ライフサイクルと環境～グループ演習)	14	作業の治療的意味 作業療法理論
5	作業療法の歴史 (日本の作業療法の歴史、現状と課題)	15	まとめ、試験対策
6	作業療法の実際 (医療領域～急性期)	16	
7	作業療法の実際 (医療領域～回復期)	17	
8	作業療法の実際 (福祉領域)	18	
9	作業療法の実際 教育支援領域	19	
10	作業療法の実際 (生活期～終末期)	20	

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

プリント（当日配布する）、PC、プロジェクター

履修上の注意事項

特になし

成績評価方法

学期末試験（70％）や出席率（20％）と併せて、グループワーク課題・授業態度（10％）によって成績を評価する
また適宜レポート作成を行い、評定のための資料とする

教科書

作業療法学全書改定第3版 作業療法概論

参考書

特に指定しない。

予習復習のアドバイス

事前に教科書を読んで、予習をすること。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	後期	学 年	1年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	作業療法理論	講義曜日	時間割参照	講義回数	8
		単位時間数	15	単位数	1
講師名	石川陽子・上遠野純子	実務経験	石川：介護老人保健施設・精神科病院に4年、介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪問介護ステーション（訪問リハビリテーション）に2年、作業療法士として勤務。上遠野：医療機関（リハ専門病院、大学病院）20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	作業療法の専門性を改めて見出すために、開発された各種作業療法理論、モデル、ツール、参照枠組み、学問について学ぶことで、作業療法の唯一無二の専門性を理解する				
	到達目標				
	作業と結びつきのカナダモデル（CMOP-E）について説明できる。人間作業モデル（MOHO）について説明できる。作業療法介入プロセスモデル（OTIPM）について説明出来る。生活行為向上について説明できる。作業療法介入プロセスモデル（OTIPM）について説明出来る。生活行為向上マネジメント（MTDLP）について説明出来る。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 基礎作業学の定義		
2	作業療法と作業理論		
3	CMOP-E（PBL）		
4	MOHO（PBL）		
5	OTIPM（PBL）		
6	MTDLP（PBL）		
7	OTPF（PBL）		
8	作業科学（PBL）		
9			
10			

講義方法

座学、グループ演習、自己課題演習と内容によって講義スタイルを変更します。

講義で使用する機器・教材

必要に応じてI P a dを使用する。担当教務に使用の有無をその都度確認のこと。

履修上の注意事項

作業療法の実践のための基礎となる理論であるため、十分に理解する必要がある。

適宜演習を行うため、指示に従って行動すること

成績評価方法

学期末試験（50％）、演習レポート課題（40％）、授業態度（10％）で評定する。

教科書**参考書**

二木淑子 能登真一 編集 作業療法概論（標準作業療法学） 医学書院

吉川ひろみ 「作業」ってなんだろう 作業科学入門 第2版 医歯薬出版

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	後期	学 年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	基礎作業学概論	講義曜日	時間割参照	講義回数	8
		単位時間数	15	単位数	1
講師名	石川 陽子	実務経験	介護老人保健施設・精神科病院に4年、 介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪問介護ステーション（訪問リハビリテーション）に2年、作業療法士として勤務		
到達目標	人の暮らしの中にある作業とは何かを定義と分類に沿って説明することができ、何故作業療法が作業を取り扱うのかを説明できる。作業を分析する枠組みについて説明することができる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 人間と作業	11	
2	作業の種類と分類 意味・形態・機能	12	
3	作業と道具・環境 個人因子	13	
4	実践の紹介	14	
5	ライフステージと作業	15	
6	分析の視点-運動機能	16	
7	分析の視点-心理機能	17	
8	作業を捉える枠組み 工程分析・包括的作業分析	18	
9		19	
10		20	

講義方法

主に座学講義・グループワークにて実施する。

(遠隔講義中) リアルタイム双方向・課題を組み合わせで実施する。

実施方法については都度、Teamsにて連絡する。

講義で使用する機器・教材

パワーポイント、その他配布資料

(遠隔講義中) 上記資料をデータで配布する

履修上の注意事項

話している内容をメモするように心がけて受講してください。

聞き洩らしたことや書ききれなかったことは必ず後に確認をしてください。

(紙資料配布の場合) 欠席等で資料がない場合は、担当教員まで取りに来る、他学生からコピーさせてもらう等して、必ず資料は揃えておいてください

成績評価方法

課題50%、期末試験50%にて評定する。ただし、遠隔講義の導入割合によって、課題評定の割合が増加する可能性があるため、課題の提出期限と内容に注意してください。

教科書

基礎作業学 第3版/医学書院

予習復習のアドバイス

講義開始前に講義資料を一読し、わからない単語にマークをつけ、講義を集中して聞くポイントとする予習がおすすめです。わからないことは必ず担当教員にできるだけ早く確認を。(後回しにすると、わからないところもわからなくなります)

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	1 年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	基礎作業学実習	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		単位時間数	45	単位数	1
講師名	矢野 大輔 藤井 貴	実務経験	矢野：医療機関3年4ヵ月、介護保健施設・介護福祉施設など11年8ヵ月、作業療法士として勤務。藤井：医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務。		
到達目標	＊主要な作業についての手順が説明できる ＊作業療法で利用される作業活動を経験し、特性や人・環境との影響も説明できる ＊主要な作業の作業分析、活動分析、作業遂行分析が行える				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 科目で学ぶこと	11	〈ADL3〉 起居動作② 立ち上がり～立位～歩行
2	〈Leisure1〉 革細工① コースター	12	〈Leisure3〉 散歩① 計画立案
3	〈Leisure1〉 革細工② キーホルダー	13	〈Work1〉 調理① 計画立案
4	〈Leisure2〉 紙細工① ちぎり絵	14	〈Work1〉 調理② 調理実施
5	〈Leisure2〉 紙細工② ちぎり絵	15	〈Work1〉 調理③ 分析
6	〈ADL1〉 更衣① 上衣	16	〈Leisure3〉 散歩② 計画実施
7	〈ADL1〉 更衣② 下衣	17	〈Leisure3〉 散歩③ 振り返り
8	〈ADL2〉 食事① 箸・フォーク・スプーンでの動作の違い	18	〈ADL4〉 トイレ①
9	〈ADL2〉 食事② 食形態による動作の違い	19	〈ADL4〉 トイレ②
10	〈ADL3〉 起居動作① 寝返り～起き上がり～座位	20	〈Work2〉 グループワーク発表 デスクワークの作業分析

回数	講義内容	回数	講義内容
21	〈Work2〉 グループワーク発表 教員の作業分析		
22	〈Work3〉 個人課題発表① 身近な職業の分析		
23	〈Work3〉 個人課題発表② 身近な職業の分析		

講義方法

実技と講義形式を混合に行います

講義で使用する機器・教材

履修上の注意事項

時間内に課題を終了できるように、集中して取り組むこと

周囲への配慮をしながらケガのないよう安全に実習をする事を留意する

物品の整理整頓をすること 実習室（教室）の清掃を全員で実施すること

グループワークの多い講義となっているため、欠席することによるグループワークの進行やグループメンバーへ与える影響をよく考えること

成績評価方法

作業課題と分析（100%）・授業態度（減点方式）にて評価する。

また、出席時数が授業時数の2/3に達しない場合、成績評価できない。

教科書

標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第3版 医学書院

参考書

作業-その治療的応用 日本作業療法士協会編集 協同医書出版社

予習復習のアドバイス

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	後期	学 年	1 年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	作業療法特論Ⅰ	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	上遠野 純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院、大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士 として勤務		
到達目標	周辺知識を含めた勉強方法を理解している。基礎三科目（解剖学・運動学・生理学）の勉強を継続して行うことができる。覚え込みと繰り返し学習により想起できる範囲が広がっている。どこを見ればその答えが載っているかをすぐに探すことができる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション&申し送り（見本提示） 元ポートフォリオ1作成	11	元20～22を使用してA問題20～ <u>22</u> を解き 情報追記 課題：元23～25作成
2	元ポートフォリオ1を使用してA問題1を解く 情報の追記 課題：元2を作成	12	元23～25を使用してA問題23～25を解き 情報追記 課題：元26～28作成
3	元ポートフォリオ2を使用してA問題2を解く 情報の追記 課題：元3を作成	13	元26～28を使用してA問題26～28を解き 情報追記 課題：元29～31作成
4	元ポートフォリオ3を使用してA問題3を解く 課題：元ポートフォリオ4作成	14	3科目模試
5	★output event★ 元ポートフォリオ1～4を持ち込み 課題：5～7作成	15	3科目模試振り返り
6	元5～7を使用してA問題5～7を解き 情報追記 課題：元8～10作成		
7	元8～10を使用してA問題8～10を解き 情報追記 課題：元11～13作成		
8	元11～13を使用してA問題11～13を解き 情報追記 課題：元14～16作成		
9	元14～16を使用してA問題14～16を解き 情報追記 課題：元17～19作成		
10	元17～19を使用してA問題17～19を解き 情報追記 課題：元20～22作成		

講義方法

講義内では、自分で作成した元ポートフォリオを使用して、元になっている5択の問題を解き、不足している情報を追記していきます

課題として、自分で時間を調整して元ポートフォリオを作成します

徐々にペースアップしていく予定です

講義で使用する機器・教材

ポートフォリオファイル

履修上の注意事項

各回の課題（元ポートフォリオ）は事前に作成し準備して臨むこと

成績評価方法

小テストならびに出席状況ならびに学期末試験にて評定を総合的に行う。

また、基礎3科目模試の成績の参考にする。

教科書

特になし

参考書

特になし

予習復習のアドバイス

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	後期	学 年	1年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	基礎検査測定実習	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		単位時間数	45	単位数	1
講師名	藤井 貴 矢野 大輔	実務経験	藤井：医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務。 矢野：医療機関3年4ヵ月、介護保健施設・介護福祉施設など11年8ヵ月、作業療法士として勤務。		
講義目標	一般目標				
	作業療法分野における測定・評価方法（形態測定・反射・ROM・MMT）を正しく理解する				
	到達目標				
	①対象者へのプログラム立案および目標設定の際の重要な情報の一つとして認識する ②対象者の身体状況を可能な限り客観的に抽出し、的確に測定・評価を行い、臨床実習および治療にいかせる知識を修得する				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	形態測定①講義 総論・四肢長・周径	16	ROM測定⑩実技 下肢③
2	形態測定②実技 四肢長・周径	17	MMT測定①講義 肩関節
3	反射検査①講義 深部反射・表在反射・病的反射	18	MMT測定②講義 肘関節/前腕
4	反射検査②実技 深部反射・表在反射・病的反射	19	MMT測定③講義 手関節/手指
5	ROM測定①講義 総論・上肢（肩甲帯）	20	MMT測定④講義 下肢①
6	ROM測定②実技 上肢（肩甲帯）	21	MMT測定⑤講義 下肢②
7	ROM測定③講義 上肢（肩関節）	22	MMT測定⑥講義 下肢③
8	ROM測定④実技 上肢（肩関節）	23	まとめ
9	ROM測定⑤講義 上肢（肘関節・前腕・手関節）	24	
10	ROM測定⑥講義 上肢（手指）	25	
11	ROM測定⑦講義 下肢①	26	
12	ROM測定⑧実技 下肢①	27	
13	ROM測定⑨講義 下肢②	28	
14	ROM測定⑩実技 下肢②	29	
15	ROM測定⑪講義 下肢③	30	

講義方法

講義形式の授業で基礎知識を理解する
実技を通して的確に測定・評価を行えるようにする

講義で使用する機器・教材

教科書 プリント 骨・筋標本

履修上の注意事項

実技演習の際は積極的に体験するように努める事
実習着（ケーシー）着用、身なりを整える（不十分な場合は適宜、修正を加える）

成績評価方法

実技テスト 70%
出席率 課題 30%

教科書

PT・OTのための測定評価（ROM測定・形態測定・反射検査・MMT）

参考書

ベッドサイドの神経の診かた
新・徒手筋力検査法

予習復習のアドバイス

授業で配布されたプリント資料などを内容別に整理して、後日利用できるようにする

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	1
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	日常生活活動実習Ⅰ	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		総時間数	45	単位数	1
講師名	淀川 裕美	実務経験	医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	日常生活活動（手段的日常生活動作を含む）に対する基本的な作業療法について理解する				
	到達目標				
	①日常生活活動・手段的日常生活動作の概念について説明できる ②日常生活活動・手段的日常生活動作の評価について説明できる				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	はじめに 本講で行うこと・ADLとは	16	家事 調理
2	ADLの領域と評価	17	家事 掃除等
3	ADL・IADLの評価	18	家事 その他
4	ADL各論について	19	育児
5	起居	20	ADLにおけるOT支援（P24）
6	食事	21	ADLと福祉用具
7	食事	22	ADL関連制度
8	更衣	23	まとめ
9	更衣	24	
10	整容	25	
11	整容	26	
12	排泄	27	
13	排泄	28	
14	入浴	29	
15	入浴	30	

講義方法

講義形式と実技の演習にて本講を実施致します。2020年度においては講義を先行し、演習は後半に行うこととします。

講義で使用する機器・教材

教科書：作業療法学 コールト・マスター・テキスト日常生活活動（ADL）

授業資料：PDFデータで配布

履修上の注意事項

上記の教科書に加えて、授業資料を提示します。Online授業ではteamsにて提示しダウンロードが可能であるようにします

成績評価方法

筆記試験を80%とし、出席及び実技(演習)状況を20%で評定に加味します

予習復習のアドバイス

その都度、実施した内容を振り返り、週内に不明な点は解決できるよう努めましょう！

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	日常生活活動実習Ⅱ	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		単位時間数	45	単位数	1
講師名	淀川 裕美	実務経験	医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	日常生活活動（手段的日常生活動作を含む）に関するライフサイクルにおける特徴を理解できる				
	到達目標				
	①ライフサイクル別の日常生活活動・手段的日常生活動作の概念について説明できる ②ライフサイクル別の日常生活活動・手段的日常生活動作の違いや特徴、疾患における影響について説明できる				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	ADLにおける作業療法支援法	16	ライフサイクルとADL④成人期
2	ADLと福祉用具①P28～53	17	ライフサイクルとADL④成人期
3	ADLと福祉用具②P28～53	18	ライフサイクルとADL④成人期
4	作業療法における福祉用具 P54	19	ライフサイクルとADL⑤老年期
5	ADLの関連制度 P61	20	ライフサイクルとADL⑤老年期
6	住環境と福祉用具におけるADL支援	21	ライフサイクルとADL⑤老年期
7	ライフサイクルとADL①乳児～幼児	22	生涯を通じたADL
8	ライフサイクルとADL①乳児～幼児	23	まとめ
9	ライフサイクルとADL①乳児～幼児	24	
10	ライフサイクルとADL②学童期	25	
11	ライフサイクルとADL②学童期	26	
12	ライフサイクルとADL②学童期	27	
13	ライフサイクルとADL③青年期	28	
14	ライフサイクルとADL③青年期	29	
15	ライフサイクルとADL③青年期	30	

講義方法

講義形式と実技の演習にて本講を実施致します。2020年度においては講義を先行し、演習は後半に行うこととします。

講義で使用する機器・教材

教科書：作業療法学 コールト・マスター・テキスト日常生活活動（ADL）

授業資料：PDFデータで配布

履修上の注意事項

上記の教科書に加えて、授業資料を提示します。Online授業ではteamsにて提示しダウンロードが可能であるようにします

成績評価方法

筆記試験を80%とし、出席及び実技(演習)状況を20%で評定に加味します

予習復習のアドバイス

その都度、実施した内容を振り返り、週内に不明な点は解決できるよう努めましょう！

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	運動学実習	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		単位時間数	45	単位数	1
講師名	上遠野 純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院・大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
到達目標	実習を通して、人の運動・動作の特徴とそれに伴う諸現象を理解する。運動と動作に関して、観察・測定・分析に初歩的手段を体験し、その結果をレポートとしてまとめる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	口頭試問1-① 全身の関節運動名（記憶実習）	16	実験⑥の検証
2	口頭試問2-① 起き上がり動作と関節運動（記憶実習）	17	バイタル測定演習
3	口頭試問2-② 起き上がり動作と関節運動（記憶実習）	18	バイタル測定演習
4	口頭試問2-③ 起き上がり動作と関節運動（記憶実習）	19	運動負荷試験演習① マスター階段昇降検査
5	実験①肩関節の可動域計測 他動運動と自動運動の比較	20	運動負荷試験演習② マスター階段昇降検査
6	実験①肩関節の可動域計測 他動運動と自動運動の比較	21	運動負荷試験演習③ 上肢運動負荷試験（重量負荷による）
7	実験②膝関節と股関節の可動域計測 2 関節筋の影響	22	運動負荷試験演習④ 上肢運動負荷試験（重量負荷による）
8	実験①と②の検証	23	まとめ
9	実験③ 筋力検査 肢位と最大筋力の考察	24	
10	実験④ 筋力検査 標準テストと迅速テスト	25	
11	実験③と④の検証	26	
12	実験⑤ - i 端坐位姿勢と車椅子姿勢 前額面と矢状面の差異	27	
13	実験⑤ - ii 立ち上がり動作 端坐位と車椅子坐位からの立ち上がりの	28	
14	実験⑤の検証	29	
15	実験⑥ 機能的リーチテストと座位 での前方リーチテストの差異	30	

講義・実習方法

レポートの書き方、口頭試問について、実験方法等を開始前に説明しますが、後は自ら考え行動して下さい。

グループでの演習や2人1組になったの演習になります。

講義で使用する機器・教材

I P a dは必ず持参して下さい。

履修上の注意事項

※解剖学・生理学・骨格筋測定法、作業療法評価学、運動学の教科書を実験により使い分けます。

※口頭試問は質問に口頭で答えてもらう課題です。出来るまで何度でも行います。全問正解を求めます。

※実験ごとにレポートを提出してもらいます。提出期限は指示します。提出日に遅れたものは評価しません。

※ケージー型白衣を着用下さい。基本的には12階義肢装具科工室にて演習を行いますが、適宜場所を変更しますので、連絡事項を確認ください。

成績評価方法

※口頭試問とグループ発表もしくは個人レポート課題提出にて評価します。

教科書

伊東 元 高橋 正明編集 標準理学療法学・作業療法学 運動学 医学書院

澤田雄二 編集 基礎作業学 改訂第3版 (作業療法学全書第2巻) 医歯薬出版

生田宗博 編集 作業療法評価学 改訂第3版 (作業療法学全書第3巻) 医歯薬出版

参考書

中村隆一 他 編集 運動学実習 第3班 医歯薬出版

鎌倉矩子 編 PT・OT学生のための運動学実習 三輪書店

予習復習のアドバイス

解剖学・生理学・骨格筋測定法・作業療法評価学・基礎作業学・運動学などの基礎となる知識を復習しながら、わかるまで、納得するまで、解決する姿勢で望むこと。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	基礎作業学実習Ⅱ	講義曜日	時間割参照	講義回数	23
		単位時間数	45	単位数	1
講師名	石川 陽子／淀川 裕美／酒井 良隆	実務経験	石川：介護老人保健施設・精神科病院に4年、介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪問介護ステーション（訪問リハビリテーション）に2年、作業療法士として勤務。淀川：医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務。酒井：医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務		
講義目標	一般目標				
	作業療法の治療手段として「作業・作業活動」を活用するため、作業分析によって様々な作業の理解を深め、対象者に必要な形に応用して実施・指導することができる				
	到達目標				
	作業分析によって作業活動そのものが持つ特性や人や環境に与える影響を説明できる対象や目的に応じ、作業活動を通じた課題や段階設定が行えるようになる 作業活動を企画・運営・実行することができる				
回数	講義内容	回数	講義内容		
1	オリエンテーション 対象者像の理解	16	アクティビティの分析②		
2	対象者像の理解 Group学習	17	アクティビティの実施③		
3	対象者像の理解（プレゼン） 行動特性についてFB	18	アクティビティの分析③		
4	対象者像の理解（プレゼン） 行動特性についてFB	19	アクティビティの実施④		
5	アクティビティの開発①	20	アクティビティの分析④		
6	アクティビティの開発②	21	アクティビティの実施⑤		
7	アクティビティの開発③	22	アクティビティの分析⑤		
8	アクティビティの開発④	23	アクティビティの実施⑥		
9	アクティビティの開発⑤				
10	アクティビティの開発⑥				
11	観察の方法				
12	観察の方法				
13	アクティビティの実施①				
14	アクティビティの分析①				
15	アクティビティの実施②				

講義方法

講義内容によって、実習、講義、プレゼンテーションなどの講義形式をとる

講義で使用する機器・教材

適宜、資料としてハンドアウトを配布する

履修上の注意事項

備品を多く使用する授業のため、物品管理、整理整頓を常に心がけること

授業終了後には必ず掃除をすること

グループワークの多い講義となっているため、欠席することによるグループワークの進行やグループメンバーへ与える影響をよく考えること

実習内容に合わせた服装で出席すること

成績評価方法

課題実施状況（50%）、態度（35%）、出席（15%）で評定する。

また、出席時数が授業時数の2/3に達しない場合、成績評価できない

教科書

基礎作業学実習ガイドー作業活動のポイントを学ぶ

参考書

特に指定しない

講義要項（シラバス）

年 度	2020 年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	身体障害作業療法評価学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	藤井貴、矢野 大輔	実務経験	藤井：医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務。矢野：医療機関3年4ヵ月、介護保健施設・介護福祉施設など11年8ヵ月、作業療法士として勤務。		
講義目標	一般目標				
	身体障がい領域における作業療法について、その実践過程を理解する。疾患別にその病態や障がい像を理解し、行うべき評価の手順を習得し、目標設定を行うことが出来る。				
	到達目標				
	身体障がい作業療法の現状を知り、その中で用いられる作業療法評価の具体的内容や測定機器について理解できる。 評価のために行う観察、検査、測定、試験を的確に実施することが出来る。 検査などで得られた情報から今後の治療にどう役立てていくかを整理し、まとめることが出来る。 基礎知識（解剖、運動、生理）を関連付けた評価目的を理解し遂行できる準備を行う。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	作業療法と評価、OTの役割、病期別	11	姿勢反射検査/バランス検査
2	OT評価の流れ、評価項目、関連法規	12	上肢機能検査（B r stage、MFT）
3	基本的情報収集、記録・報告の意義と特徴	13	上肢機能検査（B r stage、MFT）
4	面接、観察	14	協調性検査
5	関節可動域測定/形態測定	15	統合と解釈/テストバッテリー/予防評価
6	筋力検査、MMT		
7	感覚検査		
8	反射検査/筋緊張検査		
9	動作分析		
10	動作分析		

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター

履修上の注意事項

提示資料の内容だけではなく、講義内容を忘れない為にも記録をとる。

課題レポートは評価対象となる為、必ず提出する。

課題提出に関しては時間厳守、期日を守ることを周知する。

評価方法実技を踏まえ理解する。

実技指導を加える為、実習着での講義がある。

成績評価方法

実技試験（50％）学期末試験（50％）で成績を評価する。

授業態度、実技参加態度も評定の対象とする。

また適宜レポート作成を行い、評定のための資料とする。

教科書

標準作業療法学 作業療法評価学第3版、標準作業療法学 身体機能作業療法学第3版

参考書

作業療法学全書改定第3版 作業療法治療学1 身体障害

理学療法評価学 第4版 金原出版

リハビリテーション基礎評価学 第1版 羊土社

予習復習のアドバイス

- ・教科書に合わせて講義を進める為、計画的に予習を行う。
- ・講義での疑問、質問に関しては放置することなく迅速に対応する。
- ・ipadを活用し、学習効果を高める。
- ・評価実習で活用できるよう知識、技術の蓄積を行う。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	高次脳機能障害作業療法評価学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	淀川 裕美	実務経験	医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	高次脳機能障害の評価指標の臨床活用について学ぶ				
	達成目標				
	作業療法士が援助する高次脳機能障害者に対する評価の考え方と実践方法を身につけ、臨床実習や卒後業務に生かすことができる				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	高次脳機能障害の基礎知識 ～高次脳機能とは？脳の障害部位と症状の関連～	11	高次脳機能障害 半側空間無視②～検査と評価～
2	失語症 失語症①～失語症とは～	12	高次脳機能障害 記憶障害①～記憶障害とは～
3	認知障害 失語症②～検査と評価～	13	高次脳機能障害 記憶障害②～検査と評価～
4	認知障害 失行①～失行とは～	14	前頭葉障害等 遂行機能障害・前頭葉症状～遂行機能障害・前頭葉症状とは～
5	認知障害 失行②～検査と評価～	15	脳画像の診方 脳画像の種類等の理解、全体のまとめ
6	認知障害 失認①～失認とは～	16	
7	認知障害 失認②～検査と評価～	17	
8	高次脳機能障害 注意障害①～注意障害とは～	18	
9	高次脳機能障害 注意障害②～検査と評価～	19	
10	高次脳機能障害 半側空間無視①～半側空間無視とは～	20	

成績評価方法

学期末試験（100％）によって成績を評価する

教科書

作業療法治療学5 「高次脳機能障害」 協同医書出版社

予習復習のアドバイス

授業で配布されたプリント資料などを内容別に整理して後日テストに利用できやすいようにする

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	精神障害作業療法評価学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	酒井 良隆	実務経験	医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務		
講義目標	一般目標				
	精神障害領域における作業療法について、その実践過程を理解する。 様々な評価手段とその手順を習得し、目標設定を行うことができる。				
	到達目標				
	精神障害作業療法における、様々な評価手段について理解し、実施することができる。 作業療法における、基本的な視点と方法について理解する。 精神障害作業療法における、歴史的背景を理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 評価とは	11	作業面接②
2	評価について①	12	作業・作業活動を介した 回復支援と生活支援
3	評価について②	13	自己分析①
4	ライフサイクルと生活課題①	14	自己分析②
5	ライフサイクルと生活課題②	15	まとめ
6	観察について①	16	
7	観察について②	17	
8	集団とその治療的応用①	18	
9	集団とその治療的応用②	19	
10	作業面接①	20	

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料データまたはプリントを配布する。
演習では、講義内容及び資料を生かして実際に体験する。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター、iPad

履修上の注意事項

資料のみでなく、話している内容など、どんどん情報を蓄積すること。

※ゆっくりとやっている時間はありません。その時、その時に早い判断が求められます。

成績評価方法

学期末試験（100％）によって成績を評価する。

期末試験の実施が困難な場合は、課題提出と内容によって成績を評価する

教科書

標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第3版 医学書院

参考書

作業療法学全書改訂第3版 作業療法評価学 協同医書出版

精神障害と作業療法 新版 三輪書店

作業療法学全書改定第3版 作業療法治療学2 精神障害 協同医書出版

ひとと集団・場 ひとの集まりと場を利用する 第3版

予習復習のアドバイス

- ・事前に教科書、資料データを読んで、予習をすること。
- ・自分でわからないことがあったら、そのままに放置せず、必ずわかるまで調べるか、わかるまで聞くこと。それも、その時、その日のうちに。
- ・放置している時間が長ければ、それだけわからないことが増えてくる。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	発達障害作業療法評価学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	上遠野純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院・大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
一般目標	各時期の発達過程における作業療法評価法を理解する。				
到達目標	(1) 乳幼児期の発達過程における発達の遅れの障害像を説明でき、評価を理解できた。 (2) 学童・青年期の発達過程における発達の遅れの障害像を説明でき、評価を理解できた。 (3) 感覚統合の発達過程における発達の遅れの障害像を説明でき、評価を理解できた。 (4) 心理的機能障害の障害像を説明でき、評価を理解できた。 (5) 社会的機能障害の障害像を説明でき、評価を理解できた。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	発達障害（発達過程】作業療法 理念・目的・発達年齢・発達障害	11	JASPER、摂食嚥下評価
2	評価とは（障害像と全体像） 発達課題と遂行要素、ICF	12	上肢機能障害の評価 EDPAとMAT（上肢）
3	一般的評価 JDDST-R	13	職業レディネス
4	一般的評価 遠城寺式乳幼児分析的発達検査	14	社会的機能評価
5	姿勢反射検査 ミラニー発達検査	15	感覚統合障害・学習障害の評価 SCSIT・JMAP
6	運動機能障害の評価と障害像	16	
7	粗大運動の評価（GMFM）	17	
8	微細運動の評価	18	
9	(1) 視覚機能機能障害の評価 EDPA・VPDT・TVPS	19	
10	ADL評価	20	

講義方法

座学と演習を行う。

講義で使用する機器・教材

i P a d、配布資料

履修上の注意事項

- 1 人間発達学の教科書の内容を、何度も振り返ることによって知識の定着を図ること
- 2 人間発達過程（発達段階、発達課題）と障害像の関係を理解する
- 3 クリアファイルを用意して、検査用紙などは、なくさないように整理整頓すること

成績評価方法

期末試験70%、課題20%、授業態度10%で評定します。

教科書 ※4冊を使用します。

- 1 作業療法学全書第6巻 作業治療学3 発達障害
- 2 作業療法学全書第3巻 作業療法評価学
- 3 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学
- 4 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学

予習復習のアドバイス

- 1 人間発達学の教科書の内容を、何度も振り返ることによって知識の定着を図り、発達過程を覚える。
- 2 k e y w o r dは、自分なりに調べて、理解をすること。
- 3 自ら、関連する過去の国家試験問題を探し、解いてみる。分からない時には、即解決すること。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	高齢期障害作業療法評価学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	石川 陽子	実務経験	介護老人保健施設・精神科病院に4年、 介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪 問介護ステーション（訪問リハビリテーショ ン）に2年、作業療法士として勤務		
到達目標	高齢作業療法の意義を理解し、高齢者の特徴を捉えた上で、クライアントを中心とした 個別的な生活支援サービスに必要な評価の具体的内容を理解し、実施することができる。 評価から得られた情報を、有効なアプローチのために統合することができる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション 高齢者へ作業療法は何故行われる？	11	評価の流れ・評価法 どうやっているのかを知るには？
2	高齢者を理解するために 高齢者の身体的変化	12	評価の流れ・評価法 何故こうなっているのかを知るには？
3	高齢者を理解するために 時代背景, ライフイベント	13	評価の流れ・評価法 どうなればいいのかを知るには？
4	高齢者を理解するために 高齢社会	14	評価の流れ・評価法 認知症についての理解
5	高齢者を理解するために 環境	15	評価の流れ・評価法 認知症についての理解
6	高齢者を理解するために ライフステージ, QOL, 4つの喪失	16	
7	高齢者を理解するために 役割, ライフスタイル, 作業バランス	17	
8	高齢者の作業療法評価の視点 評価の流れ・手順	18	
9	評価の流れ・評価法 どのような人かを知るには？	19	
10	評価の流れ・評価法 どうなりたいかを知るには？	20	

講義方法
主に座学での講義となり、教科書、PowerPoint、iPadを使用する 講義内容によってはグループを組んで演習を行うこともある
講義で使用する機器・教材
ハンドアウト（適宜配布する）、PC、プロジェクター
履修上の注意事項
グループでの演習も行うことがあるため、自分の欠席がほかのグループメンバーや課題に与える影響をよく考えること
成績評価方法
期末筆記試験（100％）で評価する また、出席時数が授業時数の2/3に達しないものは、評価できない
教科書 作業療法全書改訂第3版 老年期 協同医書出版
参考書 標準作業療法学専門分野 高齢期作業療法学 医学書院 高齢者のその人らしさを捉える作業療法 文光堂
予習復習のアドバイス
評価学は「知りたいことを知るための方法」を説明する学問である。 習った評価法で自分に対象者の何を知ることができるのかを明確にするような復習が望ましい。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	作業療法治療学総論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	上遠野純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院・大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
到達目標	作業療法実践における理論と研究の関連をどのように実行するかを決定する方法を知る。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	総論と各論 作業療法の基本原理と目的	11	介入方略7 就労支援
2	目標設定の方法	12	介入方略8 集団理論的(対人関係技術)アプローチ
3	病期別における作業療法	13	介入方略9 精神分析的アプローチ
4	介入方略1 生体力学的アプローチ	14	介入方略10 行動理論的アプローチ
5	介入方略2 運動制御的アプローチ	15	ケースレポートの書き方
6	介入方略3 感覚統合的アプローチ①	16	
7	介入方略3 感覚統合的アプローチ②	17	
8	介入方略4 発達理論的アプローチ	18	
9	介入方略5 作業遂行アプローチ	19	
10	介入方略6 代償的・補装具的アプローチ	20	

講義方法

パワーポイントを使用する。適宜板書を行う。

講義で使用する機器・教材

講義では、教科書を使用し、適宜、資料としてプリントを配布する。

履修上の注意事項**成績評価方法**

学期末試験（70％）、レポート課題提出（20％）、授業態度（10％）によって総合的に成績

教科書

日本作業療法士協会 監修 作業療法学全書”作業療法学概論” 協同医書

日本作業療法士協会 監修 作業療法学全書”基礎作業学” 協同医書

参考書

標準作業療法学 専門分野 基礎作業学第3版 医学書院

ギャーリー・キールホフナー著 作業療法の理論 原書第3版 医学書院

予習復習のアドバイス

すべて、データにて資料を配布します。Ipadを必ず、持参してください。

講義要項（シラバス）

年 度	2020 年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	身体障害作業療法治療学	講義曜日	時間割参照	講義回数	45
		単位時間数	90	単位数	6
講師名	藤井 貴 淀川 裕美 矢野 大輔	実務経験	藤井：医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務。淀川：医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務。矢野：医療機関3年4ヶ月、介護保健施設・介護福祉施設など11年8ヶ月、作業療法士として勤務。		
講義目標	一般目標				
	身体障がい領域において対象とする疾患の臨床像と生活機能、障害について理解できる。				
	医学的な治療と作業療法の治療・指導・援助の内容が理解できる。				
	到達目標				
身体障がい作業療法の現状を知り、疾がい別にその治療計画立案、治療過程、効果判定の方法を理解する。また、各障がい像へ用いられる治療テクニックの理論、方法を習得する。各病期における作業療法の役割を明確にし、安全にまた適切に、迅速に治療が実施出来るようになる。					

回数	講義内容	回数	講義内容
1	心疾患の作業療法	11	悪性腫瘍の作業療法
2	心疾患の作業療法	12	熱傷の作業療法
3	心疾患の作業療法	13	熱傷の作業療法
4	呼吸器疾患の作業療法	14	脊髄損傷の作業療法
5	呼吸器疾患の作業療法	15	脊髄損傷の作業療法
6	呼吸器疾患の作業療法	16	脊髄損傷の作業療法
7	糖尿病の作業療法	17	脊髄損傷の作業療法
8	糖尿病の作業療法	18	脊髄損傷の作業療法
9	糖尿病の作業療法	19	骨折の作業療法
10	悪性腫瘍の作業療法	20	骨折の作業療法

回数	講義内容	回数	講義内容
21	骨折の作業療法	36	頭部外傷の作業療法
22	関節リウマチの作業療法	37	パーキンソン病の作業療法
23	関節リウマチの作業療法	38	パーキンソン病の作業療法
24	関節リウマチの作業療法	39	パーキンソン病の作業療法
25	末梢神経疾患/慢性疼痛の作業療法	40	神経・筋疾患/脊髄小脳変性症の作業療法 (ALS/MyD/MS/GBS)
26	末梢神経疾患/慢性疼痛の作業療法	41	神経・筋疾患/脊髄小脳変性症の作業療法 (ALS/MyD/MS/GBS)
27	末梢神経疾患/慢性疼痛の作業療法	42	神経・筋疾患/脊髄小脳変性症の作業療法 (ALS/MyD/MS/GBS)
28	手の外科 作業療法	43	筋萎縮性側索硬化症の作業療法
29	手の外科 作業療法	44	筋萎縮性側索硬化症の作業療法
30	手の外科 作業療法	45	筋萎縮性側索硬化症の作業療法
31	脳血管疾患の作業療法		
32	脳血管疾患の作業療法		
33	脳血管疾患の作業療法		
34	脳血管疾患の作業療法		
35	脳血管疾患の作業療法		

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター

履修上の注意事項

提示資料の内容だけではなく、講義内容を忘れない為にも記録をとる。

課題レポートは評価対象となる為、必ず提出する。

課題提出に関しては時間厳守、期日を守ることを周知する。

評価方法実技を踏まえ理解する。

実技指導を加える為、実習着での講義がある。

成績評価方法

実技試験（前期 9/2 後期12/14（50%））学期末試験（前期 後期（50%））で成績を評価
授業態度、実技参加態度も評定の対象とする。

また適宜レポート作成を行い、評定のための資料とする。

教科書

作業療法学全書改定第3版 作業療法治療学 1 身体障害、標準作業療法学 身体機能作業療法学第3版

参考書

作業療法学全書改訂第3版 作業療法評価学、標準作業療法学 作業療法評価学第3版

理学療法評価学 第4版 金原出版

リハビリテーション基礎評価学 第1版 羊土社

予習復習のアドバイス

- ・教科書に合わせて講義を進める為、計画的に予習を行う。
- ・講義での疑問、質問に関しては放置することなく迅速に対応する。
- ・ipadを活用し、学習効果を高める。
- ・評価実習で活用できるよう知識、技術の蓄積を行う。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	高次脳機能障害作業療法治療学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	淀川 裕美	実務経験	医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	高次脳機能障害の作業療法における実践と事例からアプローチの仕方を学ぶ				
	到達目標				
	作業療法士が援助する高次脳機能障害者に対しての実践方法を身につけ、臨床実習や卒後業務に生かすことができる				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	高次脳機能障害と作業療法 概要	11	機能障害別アプローチの実際 半側空間無視②～治療の実際～
2	高次脳機能障害の分類と類型 失語症①～失語症とは～	12	高次脳機能障害の分類と類型 記憶障害①～記憶障害とは～
3	機能障害別アプローチの実際 失語症②～治療の実際～	13	機能障害別アプローチの実際 記憶障害②～治療の実際～
4	高次脳機能障害の分類と類型 失行①～失行とは～	14	高次脳機能障害の分類と類型 遂行機能障害・前頭葉症状～遂行機能障害・前頭葉症状とは～
5	機能障害別アプローチの実際 失行②～治療の実際～	15	機能障害別アプローチの実際 遂行機能障害・前頭葉症状～治療の実際～
6	高次脳機能障害の分類と類型 失認①～失認とは～	16	
7	機能障害別アプローチの実際 失認②～治療の実際～	17	
8	高次脳機能障害の分類と類型 注意障害①～注意障害とは～	18	
9	機能障害別アプローチの実際 注意障害②～治療の実際～	19	
10	高次脳機能障害の分類と類型 半側空間無視①～半側空間無視とは～	20	

講義方法

- ①講義形式での学習。
- ②症例を検討してアプローチの知識を深める。

講義で使用する機器・教材

資料としてプリントを配布する。適宜、パワーポイントを使用する。

履修上の注意事項

臨床実習を想定しながら授業に臨んでください

成績評価方法

学期末試験（100％）によって成績を評価する

教科書

作業療法治療学5 「高次脳機能障害」 協同医書出版社

参考書

リハビリスタッフ・支援者のための 高次脳機能障害

予習復習のアドバイス

授業で配布されたプリント資料などを内容別に整理して後日テストに利用できやすいようにする

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	精神障害作業療法治療学	講義曜日	時間割参照	講義回数	45
		単位時間数	90	単位数	6
講師名	酒井良隆	実務経験	医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務		
講義目標	一般目標				
	作業療法の基本的実践論から、疾患・障害別の作業療法の実際について理解する。 地域生活支援や司法精神医療、精神系作業療法に関連する理論・技法などを理解する。				
	到達目標				
	対象となる疾患の病理、障害像を理解し、作業療法の目的、留意点について理解する。 生活環境のアセスメントや支援の方法について理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション	16	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害④
2	精神機能作業療法の基本的視点	17	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害⑤
3	精神保健医療福祉と作業療法①	18	気分（感情）障害①
4	精神保健医療福祉と作業療法②	19	気分（感情）障害②
5	精神機能作業療法の理論・実践モデル	20	気分（感情）障害③
6	回復過程と作業療法①	21	気分（感情）障害④
7	回復過程と作業療法②	22	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害①
8	地域生活における作業療法の視点	23	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害②
9	精神作用物質使用による 精神および行動の障害①	24	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害③
10	精神作用物質使用による 精神および行動の障害②	25	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害④
11	精神作用物質使用による 精神および行動の障害③	26	生理的障害および身体的要因 に関連した行動症候群①
12	精神作用物質使用による 精神および行動の障害④	27	生理的障害および身体的要因 に関連した行動症候群②
13	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害①	28	生理的障害および身体的要因 に関連した行動症候群③
14	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害②	29	成人の人格および行動の障害①
15	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害③	30	成人の人格および行動の障害②

回数	講義内容	回数	講義内容
31	成人の人格および行動の障害③		
32	成人の人格および行動の障害④		
33	小児（児童）期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害①		
34	小児（児童）期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害②		
35	小児（児童）期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害③		
36	認知機能障害における作業療法①		
37	認知機能障害における作業療法②		
38	身体合併症における作業療法		
39	退院支援における作業療法①		
40	退院支援における作業療法②		
41	地域生活支援における作業療法①		
42	地域生活支援における作業療法②		
43	司法精神医療における作業療法①		
44	司法精神医療における作業療法②		
45	総仕上げ		

講義方法

- 講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター

履修上の注意事項

毎回の予習、講義後の復習を欠かさずやっていきましょう。
記憶力ではなく、感受性と理解力が重要です。

教科書

標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版 医学書院

参考書

作業療法学全書改定第3版 作業療法治療学2 精神障害
作業療法学全書改訂第3版 作業療法評価学
精神障害と作業療法 新版 三輪書店

予習復習のアドバイス

学習した内容について、必ず「なぜ?」「どうして?」という探求心をもつてのぞむこと。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	発達障害作業療法治療学	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	上遠野純子／淀川裕美／酒井良隆	実務経験	上遠野：医療機関（リハ専門病院・大学病院）20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務。淀川：医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務。酒井：医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務。		
講義目標	一般目標				
	運動発達系（心身障害）と精神障害系（知的障害、発達障害）の各疾患・障害における作業療法を説明出来る				
	到達目標				
	精神心理系【知的障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害（広汎性発達障害、注意欠陥多動、学習障害を含む）、てんかん】 運動発達系【脳性麻痺、二分脊椎、運動発達遅滞、重症心身障害（Down症を含む）筋ジストロフィー症】 上記疾患の作業療法過程を説明出来る。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	脳性麻痺	11	内部障害
2	脳性麻痺	12	内部障害
3	脳性麻痺	13	摂食嚥下障害
4	脳性麻痺	14	単元テスト
5	脳性麻痺単元テスト	15	重症心身障害
6	二分脊椎	16	重症心身障害
7	二分脊椎	17	単元テスト
8	骨関節疾患	18	筋ジストロフィー症
9	骨関節疾患	19	筋ジストロフィー症
10	単元テスト	20	単元テスト

回数	講義内容	回数	講義内容
21	知的能力障害 (intellectual Disabilities)		
22	知的能力障害 (intellectual Disabilities)		
23	知的能力障害 (intellectual Disabilities)		
24	知的能力障害 (intellectual Disabilities)		
25	単元テスト		
26	自閉スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)		
27	自閉スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)		
28	注意欠如・多動性障害 (Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)		
29	注意欠如・多動性障害 (Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)		
30	単元テスト		

講義方法 座学、課題演習
講義で使用する機器・教材 プロジェクター、ビデオ、Ipadを適宜使用する
履修上の注意事項 1、人間発達学の教科書の内容を、何度も振り返ることによって知識の定着を図ること 2、人間発達過程（発達段階、発達課題）と障害像の関係を理解する 3、疾患・障害を各科の教科書から情報を収集し、まとめておくこと
成績評価方法 各疾患ごとの単元テストを実施する。演習課題の遂行状況に応じて総合評定を行う。
教科書 1、作業療法学全書第6巻 作業療法治療学3 発達障害 2、作業療法治療学第3巻 作業療法評価学 3、標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学
参考書 標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学
予習復習のアドバイス 1、人間発達学の教科書の内容を、何度も振り返ることによって知識の定着を図り発達過程を覚える。2、key wordは、自分なりに調べてまとめる。3、自ら、関連する過去の国家試験問題を探し、解いてみる。分からないことは、即解決すること。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	高齢期障害作業療法治療学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	石川 陽子	実務経験	介護老人保健施設・精神科病院に4年、 介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪 問介護ステーション（訪問リハビリテーショ ン）に2年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	高齢者を対象とした作業療法では、身体・精神的な老化現象を踏まえた上で、 人生の総括と統合を促進するよう努める必要がある。本講義では、これに必要な 具体的な作業療法アプローチの知識を得て、ゴール設定とそれに見合ったプ ラン作成を行うことを目的とする。				
	到達目標				
高齢期作業療法の意義を理解し、高齢者の特徴を捉えた上で、クライアントを中心とし た個別的な生活支援サービスに必要な介入アプローチについて説明できる。また、具 体的なクライアント例を検討し、評価、目標設定、介入プログラムの立案といった作業療 法プロセスを説明することができる。					

回数	講義内容	回数	講義内容
1	認知症の理解	11	治療技法（治療技術） SI, 作業回想法, RO, など
2	認知症の理解	12	治療技法（環境設定） 食形態, 自助具選択
3	オリエンテーション 事例紹介と解説	13	高齢期の作業療法（ケース検討）
4	高齢期に注意すること	14	高齢期の作業療法（ケース検討）
5	高齢期に注意すること	15	高齢期の作業療法（ケース検討）
6	高齢期に注意すること	16	
7	介入アプローチ 予防, 適応, 回復	17	
8	介入アプローチ 環境から, 遂行技能から, 習慣形成から	18	
9	治療理論（MOHO, CMOP, ICF）	19	
10	治療技法（治療構造） グループ活動, 個別活動	20	

講義方法

主に座学での講義となり，教科書，パワーポイントを使用する。
ケース検討はグループワークとなる（予定）。

講義で使用する機器・教材

通常講義：ハンドアウト（適宜配布する），PC，プロジェクター

履修上の注意事項

ケース検討はグループワークであるため，欠席することによる他者への影響をよく
考えて行動すること

成績評価方法

期末筆記試験（100％）で評価する。
また，授業全体の1/3以上を無断欠席の場合，成績評価できない。

教科書

作業療法全書改訂第3版第7巻 老年期

参考書

標準作業療法学専門分野 高齢期作業療法学 医学書院
高齢者のその人らしさを捉える作業療法 文光堂

予習復習のアドバイス

作業療法を展開する上で重要なのは，思考過程である
資料を暗記するのではなく，何故そうなのかを考える復習をおこなって欲しい

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	義肢・装具技術論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	上遠野純子	実務経験	医療機関（リハ専門病院・大学病院） 20年、介護福祉事業所3年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	対象とする障害像に合わせて使用する義肢・装具の、臨床での治療的適合方法や動作練習指導の方法を学習する。実習を通して、義肢・装具の臨床場面での適切な選択や適合、治療的介入を行える技術を身につける。				
	到達目標				
	義肢についてはその特性について模擬義肢の装着などを通して理解を深める。装具や自助具については、臨床場面で頻繁に活用されるものを中心に実際に作製し、製作技術を習得する。義肢装具のチェックアウト技法を身に付ける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	義肢とは、装具とは 義肢の歴史的背景	11	自助具製作（更衣動作関連用） ソックスエイド
2	義肢の構造理解	12	スプリント演習（手指用） *レナサーム使用による演習
3	義手のチェックアウト（上腕義手） （実技）	13	スプリント実習（短対立スプリント） *レナサーム使用による演習
4	義手のチェックアウト（前腕義手） （実技）	14	自助具製作（食事・整容動作関連用） 太柄スプーンもしくは台付き爪切り
5	義手装着前訓練及び装着訓練について	15	自助具製作（食事・整容動作関連用） 太柄スプーンもしくは台付き爪切り
6	義足のチェックアウト	16	
7	スプリント実習（基礎演習）	17	
8	スプリント実習（掌側型カックアップ スプリント）～型紙フィッティング、カッティング	18	
9	スプリント実習（掌側型カックアップ スプリント）～モールディング、加工	19	
10	スプリント実習（掌側型カックアップ スプリント）～チェックアウト	20	

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター

履修上の注意事項

主に製作実習になるので、使用する道具の準備や後片付けはきちんと行う。怪我のないよう細心の注意を払うこと。

成績評価方法

学期末試験（50%）や出席率（20%）と併せて、実習では製作後のレポート提出（20%）とによって評定する。

教科書

作業療法学全書改定第3版 作業療法技術学1 義肢装具学

予習復習のアドバイス

事前に教科書を読んで、予習をすること。

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度（令和2年度）	時 期	前期	学 年	3年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	研究法	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	石川 陽子	実務経験	介護老人保健施設・精神科病院に4年、 介護保健施設（通所リハビリテーション）・訪問介護ステーション（訪問リハビリテーション）に2年、作業療法士として勤務		
到達目標	研究活動は専門職としての作業療法士にとって大切な業務の一部である理由を理解した上で、研究活動を遂行し、結果を臨床に利用して、さらに報告・発表するために必要な基本的知識と技能を獲得する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	MTDLP ※グループ課題①提示・〆切	11	学会発表の基礎知識
2	作業療法における研究 研究は誰が何のためにするものなのか	12	研究の実際
3	研究の手順 研究疑問 研究倫理	13	質的研究の基礎知識
4	研究の種類・概観 目的による類型 手法による類型	14	質的研究の実践 ※グループ課題②
5	文献の種類と文献検索 ※個人課題①提示	15	質的研究の実践 ※グループ課題②〆切
6	実験研究の基礎知識 変数	16	
7	SSDの基礎知識 ※個人課題①〆切	17	
8	調査研究の基礎知識 種類 尺度 尺度の構成	18	
9	統計解析の基礎知識	19	
10	統計解析の基礎知識	20	

講義方法

主に座学での講義となり、教科書、PowerPoint、iPadを使用する

講義内容によってはグループを組んで演習を行うこともある

(遠隔講義中) リアルタイム双方向、オンデマンドの形式での講義がある、出席の取り方や課題提出については都度指示をします

講義で使用する機器・教材

ハンドアウト (適宜配布する)、PC、プロジェクター

(遠隔講義中) データをOnedriveにアップロードしますので各自DLしてください

履修上の注意事項

グループでの演習も行うことがあるため、自分の欠席がほかのグループメンバーや

課題に与える影響をよく考えること

(遠隔講義中) 欠席の際は事前に電話連絡、不可抗力での回線不良については即時に電話連絡すること。遅刻の場合はチャットまたはメッセージにて知らせること

成績評価方法

課題70%、出席・態度30%で評定する

また、出席時数が授業時数の2/3に達しないものは、評価できない

教科書

標準作業療法学専門分野 作業療法研究法/医学書院

予習復習のアドバイス

研究手法についてのみならず、自分の頭の中を分析・整理する時間として取り組んでほしい

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度（令和2年度）	時 期	通年	学 年	3年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	地域作業療法学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	淀川 裕美	実務経験	医療機関3年、介護保健施設・通所リハビリテーション事業所など11年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	地域リハビリテーションの概要を理解し作業療法に展開できる知識を得る				
	到達目標				
	地域作業療法の概要をふまえ、臨床の場で地域リハにおいて作業療法が担う役割を理解している				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	地域リハビリテーションとは	11	実践事例（身体障害者福祉施設・リハセンター）
2	地域作業療法とは	12	実践事例（訪問作業療法）
3	地域作業療法における制度	13	実践事例（身体障害者福祉施設・リハセンター）
4	社会生活支援・連携について	14	実践事例（発達支援・地域生活移行支援）
5	地域作業療法の枠組み	15	地域作業療法 まとめ
6	個別支援について・集団支援・地域づくり		
7	地域包括ケアシステムについて		
8	地域包括ケアシステムについて		
9	実践事例（病院・介護老人保健施設）		
10	実践事例（通所介護施設）		

講義方法

座学講義形式

講義で使用する機器・教材

指定の教科書の他は必要資料を都度配布(紙またはデータ配信)

履修上の注意事項

介護保険制度や地域包括ケアシステム等、他の科目でも関連する内容が含まれます
教科書全般を一読頂くことをおすすめします

成績評価方法

- ・履修内容に関する確認テスト（100点満点）を実施し、評定の8割分とする
- ・出席状況及び履修態度を合わせて2割分とする

教科書

標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第3版

予習復習のアドバイス

制度に関連すること等は、各（他の）講義の中で触れた部分を汎用する
教科書の内容を読解できることが重要

講義要項（シラバス）

年 度	2020年度（令和2年度）	時 期	通年	学 年	3年
学 科	作業療法学科	講義時間	時間割参照		
科目名	住環境整備・福祉用具活用論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	藤井 貴・外部講師（作業療法士）	実務経験	医療機関（一般病院）7年、通所介護7年、作業療法士として勤務		
講義目標	一般目標				
	対象者の生活を豊かにし、自立生活に用いる福祉用具について、その種類と機能、特性、選定、適合を学び理解する。医療・福祉制度を加味した住環境整備、実践例を把握する。				
	到達目標				
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の理論的な位置づけや評価の基本的方針を理解する。 ・疾患別の福祉用具活用、具体的な選定・適合方法を学習する。 ・住環境整備に必要な基本的な知識を把握し、実践で活用される技術を獲得する。 ・障がいの特徴に合わせた住宅改修の考え方と作業療法士の役割を理解する。 				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	建築の基礎知識 ① 住宅改造	11	疾患別の福祉用具利用（矢野先生）
2	建築の基礎知識 ② 住宅改造	12	障がい別住宅改造の留意点
3	自宅を考える（全体）	13	車椅子調整の実際（外部講師）（予定）
4	自宅を考える（アプローチ、玄関）	14	車椅子調整の実際（外部講師）（予定）
5	自宅を考える（トイレ）	15	福祉用具展示会場見学（予定） <u>（仙台市シルバーセンター）</u>
6	自宅を考える（浴室）	16	
7	住宅改造を考える。	17	
8	トータルマネジメント	18	
9	福祉用具適応論	19	
10	福祉用具の運用	20	

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。
総合的な知識を学習をする。

講義で使用する機器・教材

PC、プロジェクター、ipad

履修上の注意事項

提示資料の内容だけではなく、講義内容を忘れない為にも記録をとる。
課題提出に関しては、提出期限を守る。
国家試験問題も関連して学習する。
見学、外部講師については、現在未定。

成績評価方法

課題提出（50％）講義内テスト（50％）によって評価する。

教科書

作業療法学全書改定第3版 作業療法技術学10 福祉用具の使い方・住環境整備 協同医書出版

参考書

標準作業療法学 社会生活行為学 医学書院

理学療法テキストX 生活環境論 九州神陵文庫

作業療法ジャーナル6月増刊号 居住支援ガイドブック Vol.39 No.7 2005 三輪書店

作業療法ジャーナル6月増刊号 テクニカルエイド Vol.46 No.7 2012 三輪書店

予習復習のアドバイス

- ・教科書の目次に合わせて講義を進める為、計画的に予習を行う。
- ・講義での疑問、質問に関しては放置することなく迅速に対応する。
- ・ipadを活用し、学習効果を高める。
- ・柔軟な思考でひとの生活をイメージする。

講義要項（シラバス）

年 度	令和2年度	時 期	通年	学 年	3年
学 科	作業療法科	講義時間	時間割参照		
科目名	職業関連活動技術論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	2
講師名	酒井 良隆	実務経験	医療機関（神経科・精神科）に作業療法士として12年勤務		
講義目標	一般目標				
	人にとっての就業の意義を探り、障害者の就労について考える				
	到達目標				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の就労援助体制の現状を認識する ・ 職業リハビリテーションにおける作業療法の意義と役割について理解を深める 				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	オリエンテーション	11	障害者職業センターにおける就労支援の実際
2	人と職業	12	ハローワークにおける就労支援の実際
3	人の職業的発達	13	就労移行支援事業所における就労支援の実際
4	障害者の就労	14	就労継続支援事業所A・B型における就労支援の実際
5	職業リハビリテーション	15	まとめ
6	障害者の就労援助体制の現状	16	
7	精神障害における就労支援	17	
8	職業リハビリテーションにおける作業療法の意義	18	
9	職業リハビリテーションにおける作業療法士の役割	19	
10	職業リハビリテーションにおける作業療法計画	20	

講義方法

講義内容 講義内容により、外部演習、講義のスタイルをとる

講義で使用する機器・教材

PC、iPa(PC、iPad、スクリーン、プロジェクター

履修上の注意事項

今後有資格者となってからの自身のあり方について考える事や、障害者の就労支援の一助となるために必要不可欠な学習内容であるため、しっかりと理解に努める事

成績評価方法

学期末試 学期末試験（100％）にて成績を評価する

試験実施 試験実施が困難な場合、課題により成績を評定する

教科書

作業療法学全書改定第3版 作業療法技術学4 職業関連活動 協同医書出版

参考書

標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第2版 医学書院

職業リハビリテーション学 キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系 改訂第2版 協同医書出版

作業療法ジャーナル6月増刊号 働くことの意義と支援 Vol.43 No.7 2009 三輪書店

予習復習のアドバイス

- ・事前に教科書を読んで、予習をすること。
- ・自分でわからないことがあったら、そのままに放置せず、必ずわかるまで調べるか、わかるまで聞くこと。それも、その時、その日のうちに。
- ・放置している時間が長ければ、それだけわからないことが増えてくる。